

板橋口地区公益エリアの整備に関する説明会での主な質問・意見について

令和5年10月28日(土)、30日(月)実施

①公益エリアについて

	質問・意見	区の回答/考え方
質疑応答 より	公益エリアで、様々な事業を実施することのことだが、具体的な内容を知りたい。	交流スタジオは、小規模ホールの想定であり、事業例としては文化芸術に関する発表、展示、事業者の製品展示等です。区民プラザは、使いやすいラウンジといったイメージであり、ワークスペース、貸室等の方向性で検討しています。各詳細は令和5,6年度において、地域のニーズを見極めた上で、整備計画として検討していきます。
	交流スタジオの天井高については、6メートルとのことだが、どのような立て付けになっているのか。	交流スタジオ部分は、直上にマンションがないため、おおよそ4階床部分から5階天井部分までの天井高が確保できる見込みです。
	公益エリアでの事業について、具体例を提示してほしい。「インキュベーション」、「区民ラウンジ」等ではイメージが掴めない。	具体的な事業例については、今後整備計画策定を通して内容の具体化が進む中で、示していきます。
	板橋区らしさ、板橋区の概要がすぐにわかるような展示等を設置してほしい。板橋区の誇りが感じられるような施設になると良い。	板橋区の玄関口として、特産品の魅力発信等、誇り・愛着を高める施設の整備、施設内の取組を検討していきます。
アンケート より	住民の声をよく取り入れていただきたい。	引き続き、住民説明会や区議会等で説明の機会を設ける他、適宜アンケートを実施して地域にお住まいの方々や板橋駅利用者の方々からの意見収集を進めていきます。整備計画策定にあたり、複数回、説明や意見収集の場を設置していく予定です。
	説明会の周知方法をもっと増やしてほしい。	今回は町内掲示板・回覧板、区ホームページ・Twitter等で説明会の周知を行いました。今後、広報いたばし等周知方法の拡充検討を含め、幅広い意見をいただける取組を進めていきます。

②板橋口地区建物全体について

	質問・意見	区の回答
質疑応答 より	複合施設内の住宅について、ワンルームの物件が多いと住民票を移さず、住民税収が発生しないことがある。板橋区の発展につながるよう、しっかりと住民税が発生する形式で事業を進めてほしい。	板橋駅西口周辺地区の地区計画で、家族世帯向け規模の室を一定数以上設けるよう規定しています。板橋口地区においても住宅部分は70㎡規模の部屋が多く、家族向けのマンション構成になっています。そういった面で税収も考慮して検討を進めています。
	テレビの電波障害対策として実施しているシミュレーションについて、結果公表に向けた進捗はどうなっているか知りたい。	電波について、板橋口地区事業者から問題が起きないように検討を進めていると報告を受けています。 (野村不動産回答) 電波障害について、データ上でのシミュレーション等を行っております。その結果自体は、あくまで想定のものであるため、公表は予定しておりません。電波障害発生の際は、対応いたします。
	建物の出入口をわかっている範囲で教えて欲しい。建物の通り抜けなど可能なのか。	駅改札側、駅前広場、西側道路沿いにあります。各出入口の使用可能時間帯については商業施設側・事業者側と調整中です。